



鹿児島県

1. 商品名等

商品名	あま塩マドレーヌ	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
 	<p>課題研究の一環で地元食材を使った2種類のマドレーヌの商品開発を行った。</p> <p>学校近くの海水から作られる塩を生地中使用し、鹿児島県唯一生産をおこなっているアスパラガスをあま塩で仕上げトッピングした。</p> <p>また、日置市で栽培を推進しているオリーブオイルを生地に加え、スライスしたオリーブの実をトッピングした。</p> <p>生徒が試食を繰返し、商品の改良をおこなった。販売時のアンケートで顧客からは優しい味で美味しかったと評価をいただいている。</p>	

2. 学校紹介

学校名	鹿児島県立吹上高等学校	電 話	099-296-2411
住 所	鹿児島県日置市吹上町今田1003	F A X	099-296-2412
担当者	水口忠幸		
U R L	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/fukiage/top.html		
E-mail			

本校は、大正14年に鹿児島県立伊作高等学校として創設されました。昭和31年から鹿児島県立吹上高等学校として今年で創立95周年を迎えます。日本三大砂丘の一つである吹上浜を見下ろす高台に位置し、情報処理科、電気科、電子機械科の3学科を設置した歴史と伝統を誇る専門高校です。「開拓・奉仕」の校訓のもと、「技術と資格で未来を切り拓け」をスローガンに掲げ、社会の即戦力として活躍できる産業人の育成を目指しています。情報処理科では、情報処理に関する分野の知識・技術を習得し、高度情報通信社会に対応できる人材の育成と接遇教育をとおした心豊かな人材育成を目標に、地域の調査研究や産業現場研修を行い地元企業と連携した教育を行っています。

3. 実施科目等

科目名	課題研究 地域調査(商品開発)	単位数	4単位
対象生徒	情報処理科 8人	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

なし

5. 開発経緯等

課題研究で2年前から「地元の食材を使って地域の活性化に貢献しよう」という目標を掲げ、地域調査や商品開発に取り組んできた。

1年目の令和元年に、地域調査で近隣の宿泊施設や商工会などを訪れ、地域産業などを調べた。地域産業として、農産物のアスパラガスや海水でつくったあま塩、日置市の気候に合った品種としてオリーブなどがあった。

令和元年の年末に商品開発の相談に伺った企業の方から、令和2年の3月からは商品開発の協力をいただけることとなり、課題研究のテーマとして商品開発を進めて行った。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴って企業へ直接訪問して商品開発を行うことが難しくなったため、インターネットや電話を使い、連絡して開発を進めて行った。試作品の試食と商品のレポートを繰り返し、改善点を挙げ、互いにアイデアを出し合い商品開発を行った。

令和2年度 4～5月 新商品の企画 アイデア提案 商品の試作 マドレーヌ

試作販売 2店舗 (あま塩入り オリーブ入り)

商品名 ポスター検討 パッケージデザインの検討

商品販売 3店舗 (オリーブ実入り)

6月 商品の試作 商品販売 4店舗 (オリーブ実入り アスパラガス入り)

ポスターの完成 パッケージデザインの完成

7月 商品販売 4店舗 (改良版オリーブ実入り 改良版アスパラガス入り)

各販売所ではお客様から、価格や味、これからの取組などの意見を伺うアンケートをお願いしている。また、生徒が販売実習や試食のアンケート等を行うところが、今回は実施できなかった。これからは、「新しい生活様式」を取り入れた商品開発を進めて行きたい。

6. 販売形態・期間

有
・
無

日置市永吉 久古屋 (本店 松元駅前) 各店舗の店頭
道の駅 お茶の里 かめまる館

7. 協力者等

有
・
無

久古屋 (日置市永吉町)

8. 商標登録の有無

有
・
無

9. 今後の課題・展望等

- ・地元食材を使用した商品の種類を増やす。
- ・1年中を通しての商品の開発。
- ・他の店との商品開発をする。